

井上通信

No.23

私も井上石灰工業は、10月1日をもちまして第67期を迎えることとなりました。これもひとえに、皆様の温かいご支援とご協力の賜物と、社員一同心より感謝しております。前期も、おかげさまで国内外で、新しい挑戦を始めることができました。

1つ目は、高知県が抱える課題解決の一助となるべく、地域貢献への想いを同じくする会員様と共に「土佐ハチドリ会」の活動をスタートさせました。長年お世話になっている高知県の未来のために、私たちができる形で貢献してまいりたいと考えております。

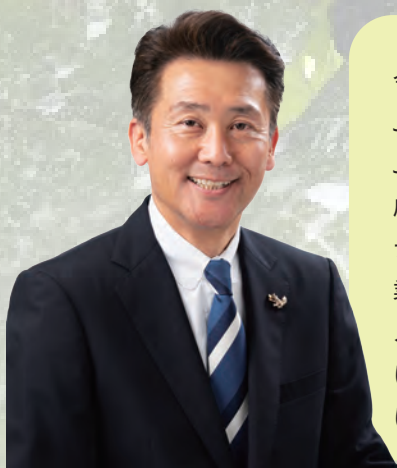
2つ目は、生産体制の面にて、南国市の稲生工場にて工場の増設と事務所の建て替えをいたしました。これにより、生産効率の向上だけでなく、万一の際にも安定供給を続けられる体制がより一層強化できました。

最後に、海外では、成長著しいベトナムと中国において、現地のパートナー企業と新しい事業を始動させました。当社の技術と現地の生産力を組み合わせ、さらなる飛躍を目指します。

井上社長の一言

今年、海外企業とのジョイントベンチャー（以下JV）会社を2社設立しました。これで海外企業とのJVは3社目となります。海外展開は、今後の当社の成長にとって欠かせない課題です。そこで、パートナーとどうコミュニケーションを取って行くかが事業の成否を決めます。私は、異文化への理解、即ち「リスペクト」が成否の鍵ではないかと思っています。世界は分断の色を深めていますが、もっと身近なところに問題を解く鍵があるように思います。

67期も、こうした熱い挑戦を続け、皆様のお役に立てるよう社員一丸となって励んでまいります。皆様の変わらぬご指導・鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



井上のお石灰な話

INOUEの思い出 編

－ 在職時の思い出や覚えていらっしゃることを教えてください －

あの当時は、重い荷を担いだり仕事は大変でしたけれど、みんな地元の地区の人ばかりで仲が良く、休憩所でおぜんざいを炊いたり、お酒もしょっちゅう飲んだりして本当に楽しかったですね。

みんな元気で明るくて役者もそろっていました。花見も恒例行事でしたし、社員旅行も楽しかったです。近所でも「カネジユウはよく旅行に行く」とうらやましがられました。

（昭和32～60年在職 水口 好美さん談）



7月末に、「日本ワインコンクール2025」の受賞結果が公表され、赤ワイン・白ワイン・スパークリングワインの部門で、銀賞を2つ、銅賞を3ついただきました。正光園シャルドネは3年連続の受賞、山南タナは初ヴィンテージで初受賞、山北シャルドネ、山北シャルドネスパークリング、山北アルバリーニヨも日本ワインコンクールでは初受賞でした。私たちがなによりも大事にしているのは高知に適した品種を栽培することです。まだまだ長い時間がかかりますが、テロワールを形作っていく土台造りが順調に進んでいると感じています。国内外の素晴らしい作り手の方々と同じ仕事において、高い志をもって高知でしかない味わいを皆と築き上げたいと思います。

このブーツの装飾、しょーりぐっちゅうろう？

土佐の方言紹介
「りぐる」

【意味】念入りにする、こだわる

【説明】作業において、より良くするために一手間加える、こだわりの様子を表す言葉です。作り手の愛情やプライドが感じられたときに使われます。「この料理はまっことりぐっちゅうねえ」と言えば、料理に対する最高の褒め言葉になります。土佐人の職人気質が感じられる一言です。



井上ワイナリー だより